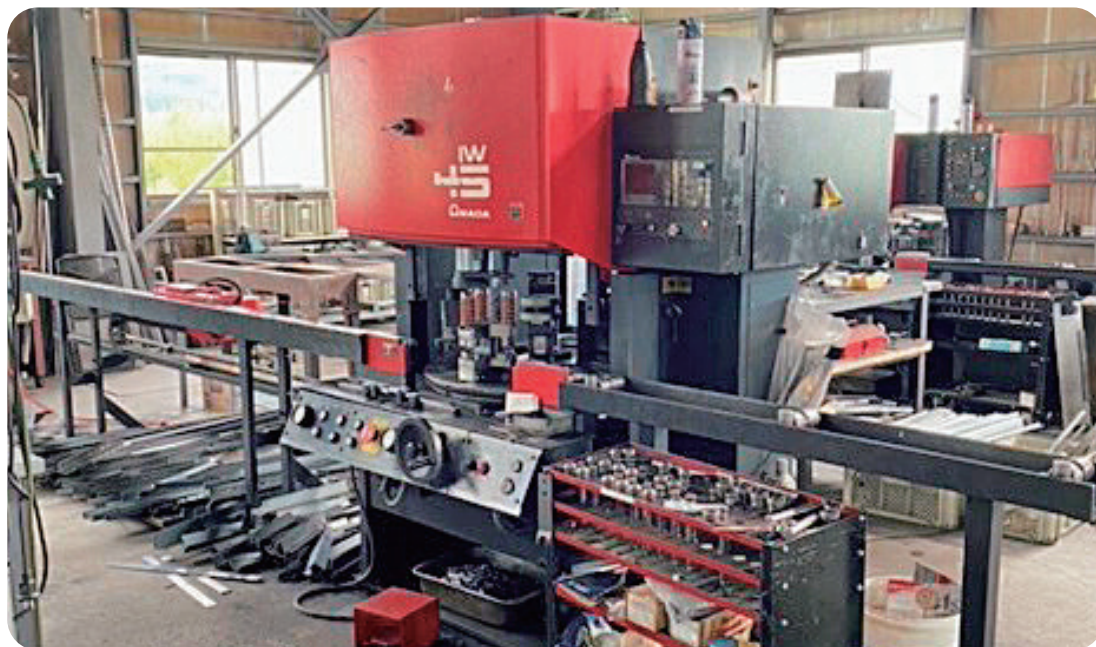


有限会社 加藤工業所

事業名 多機能型形鋼加工機の導入による加工時間の短縮と高精度化の実現

形鋼加工機アイアンワーカーの導入で大型物件や肉厚物件の受注獲得に成功



導入した加工機

事業の背景・目的

当社は少量・多品種の受注が多く、短納期と加工精度の向上実現には、効率的な生産管理および品質管理体制を構築して同業他社との差別化を図る必要があった。作業工程において、従来の加工機では図面を見ながらの手作業のために誤差が生じやすく、加工時間の長さ、精度に欠け、大型物件への対応が困難であった。生産性向上として手動からNCによる加工になることで、熟練の作業者のみ行っていた工程を、若い作業者でも行えるように計画した。

事業内容

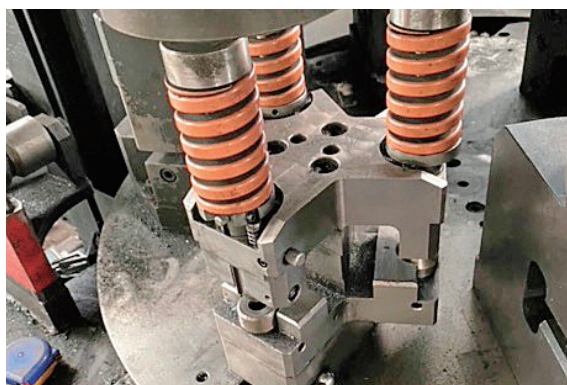
図面変更によるデータ修正、繰り返し加工を容易とするNC（コンピューター数値制御）搭載の形鋼加工機アイアンワーカー1台を新たに導入した。従来の手動式より位置調整・加工時間が短縮し、加工精度の向上および加工ワークの拡大による生産性の向上が見込まれる。



NC入力装置



加工する穴の形状によってツールを変える



長さカット、切欠き、穴あけなどのツールが入っている

事業の成果

本事業により、当社の技術力を維持したまま大
型化・肉厚化する筐体等の製造に対応でき、品
質の高精度化と時間短縮・低コスト化による生産
性の向上がはかれた。従来受注できなかった短
納期の小型制御盤への対応、大型筐体の製作も可
能になった。従来より受注している高低圧配電盤、
各種自動制御盤、各種分電盤等のほか、新たに大
型物件や肉厚物件の受注獲得ができた。



手動から自動になった
定寸装置

今後の展望

新型コロナ流行の影響があり、例年より仕事の
受注も続かなかった。ここから、どこまで回復する
か先行きが見えにくい状況ではあるが、短納期や
急な発注は今後も増加していくと考えられる。こ
れらに対処していくため、新たな機械の導入や、
将来的に任せられる人材育成などにも取り組んで
いく予定である。加工の分野では、アルミ製品な
どを手掛けていきたいと思う。いろいろな加工に
ついて常に挑戦できる企業であるよう努めていく。

有限会社 加藤工業所

- 代表者：加藤 栄一
- 設立年：1990年（平成2年）
- 所在地：山形県上山市藤吾字中道143
- 資本金：1,000万円
- 従業員：8名
- TEL：023-676-2132
- FAX：023-676-2431
- e-mail：sp3t2me9@pure.ocn.ne.jp



社屋外観

業務内容

当社は、新北浦工業団地北側にあり、鉄板またはステンレスで各種鋁金加工を施し、高低圧配電盤、分電盤などの製品として仕上げて納品する会社である。お客様が満足される製品を製作するために、日々精進している。